



衝突海難の防止について

～ 衝突海難が多発～

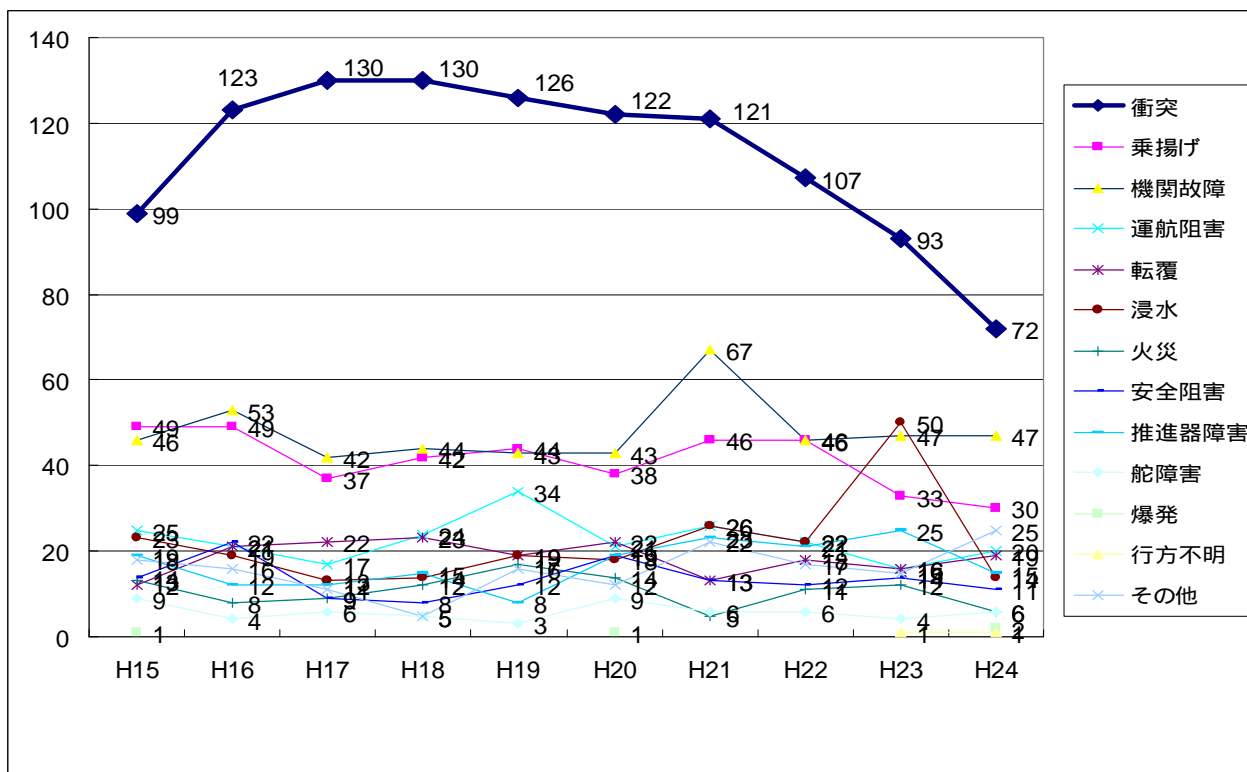
第三管区海上保安本部管内では、9月27日午前1時23分頃に伊豆大島西方沖において6名の尊い命が失われる外国貨物船と内航貨物船の衝突海難が発生いたしました。また、幸い死亡事故には至りませんでした。9月21日には東京湾中ノ瀬北方海域において外航貨物船同士の衝突事故が、そして9月30日には静岡県川奈埼沖において内航ケミカルタンカーと漁船の衝突海難が発生しております。

上記衝突海難を含め、当管区においては 本年9月に合計14件もの衝突海難が発生し、昨年のペースを上回る状況となっているところ、更に、10月に入りまして4日には清水港において貨物船同士の衝突海難が発生しております

【当管区における海難種類別の推移】

(過去10年)

衝突海難の発生件数については平成18年をピークに減少している。

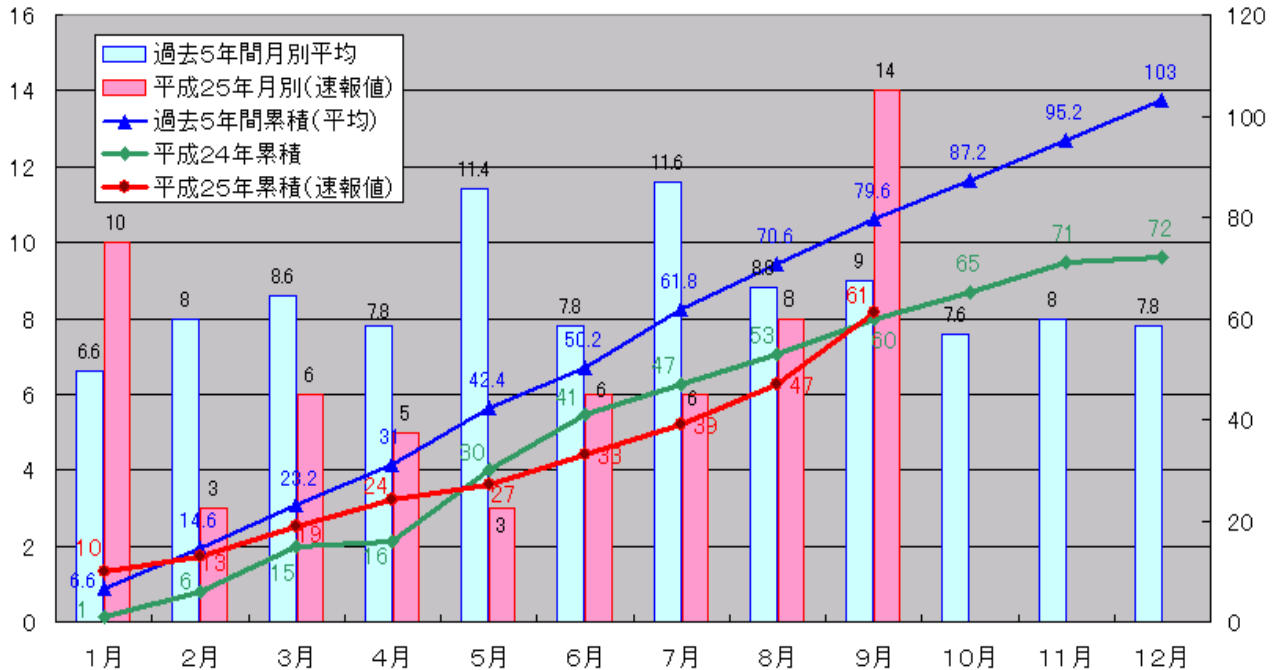


【当管区における衝突海難の発生状況】

(平成25年及び過去5年(平成20年～24年)における平均の月別発生状況)

過去5年の平均では毎月約8件の衝突海難が発生している。(グラフがきれいな右上がり)

平成25年は9月の件数が突出し合計で61件発生。平成24年の72件を上回るペースに。



当本部としましては、これら衝突海難は人命にかかわる重大な事故に繋がるおそれがあることから、船舶代理店等を通じた積極的な指導のほか、船舶乗組員及び船舶運航関係者を中心に、

「常時適切な見張りの励行」

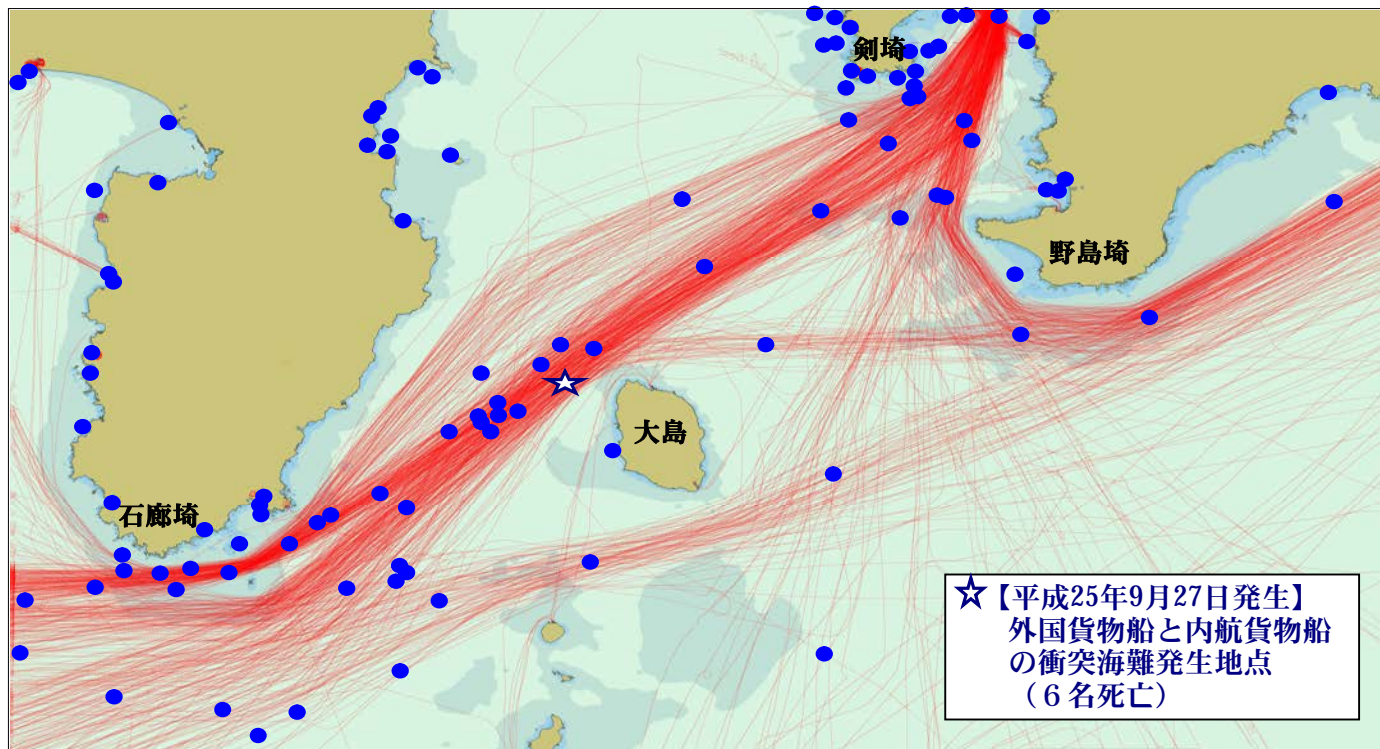
「積極的な船舶間のコミュニケーションの励行」

「適切な避航動作の励行」

について、別添リーフレット等も活用し、同種海難事故の未然防止に努めるよう注意喚起・指導を実施しています。

衝突海難を防止するために

船舶交通の状況（赤線 - ）と過去10年間の衝突海難発生地点（青点●）



常時適切な見張りを行いましょう！

◎船舶の幅そう状況や視界の状況（夜間・濃霧等による視界制限状態）に応じ、レーダーやAIS等を積極的に活用して常時適切な見張りを行い、的確に他船の動静を把握しましょう。

船舶間のコミュニケーションを積極的に取りましょう！

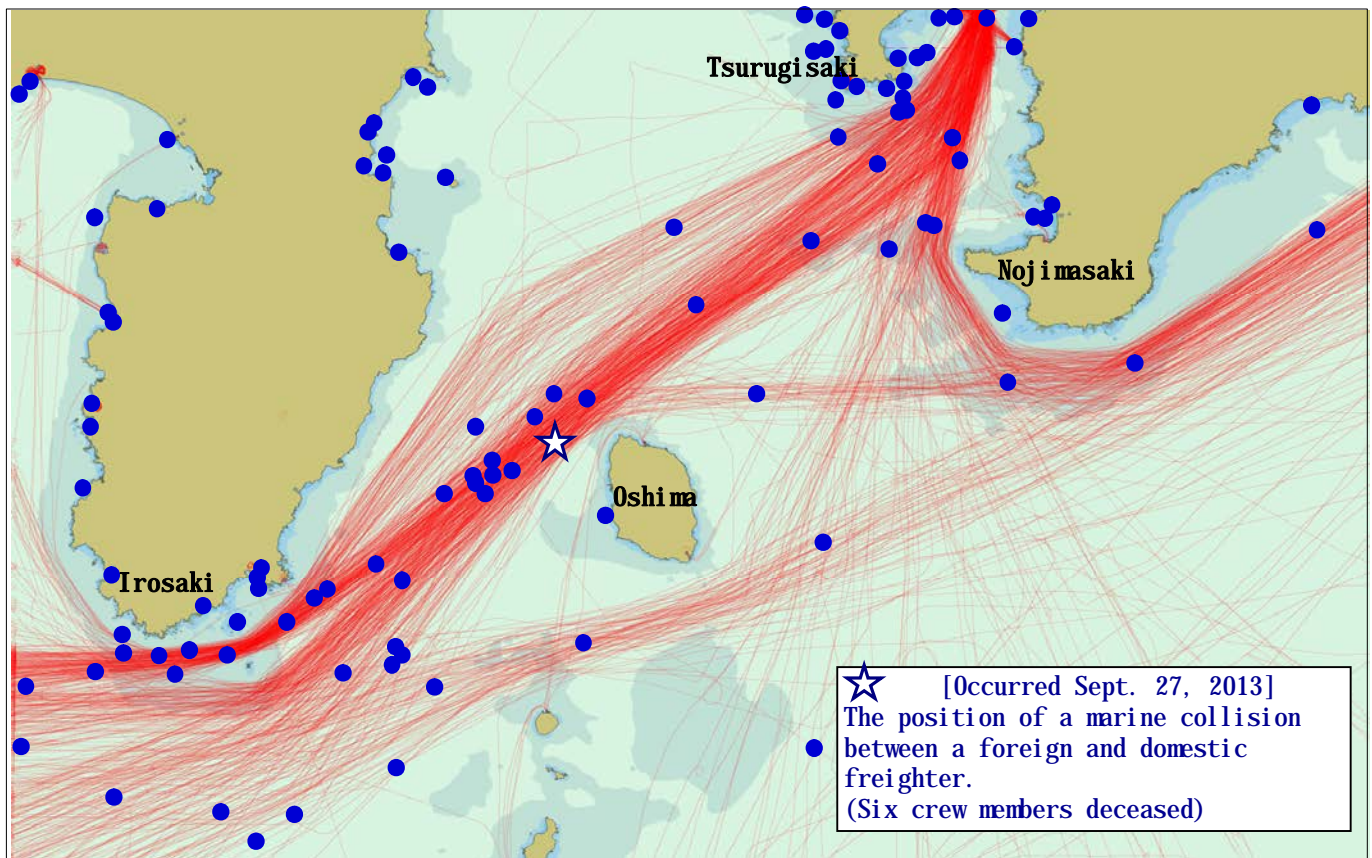
◎行会いや横切りの関係になると想定される相手船とは、無線等により積極的に船舶間のコミュニケーションを取るなどし、避航動作等に関する意思の疎通を図りましょう。

適切な避航動作を取りましょう！

◎相手船との衝突を避けるための動作は、十分に余裕のある時期に、相手船が容易に認めることができるように大幅に行いましょう。
◎避航動作を取っても、衝突のおそれが無くなるまでは、きちんと相手船の動静を継続的に確認しましょう。

For Preventing Marine Accident by Collision

The status of vessel traffic (red line -) and the locations of collision occurred in the past 10 years (blue dot ●)



Maintain a proper look-out at all times !

◎According to traffic congestion and visibility conditions (EX : restricted visibility due to night-time or Dense Fog , etc .) , you need to check the other vessels' movements by proper look-out using rader , AIS , etc .

Communicate with other vessels !

◎For your safety , adequately communicate with other vessels by VHF about how to pass each other before risk of collision arises in a case of "Head-on situation" or "Crossing situation" .

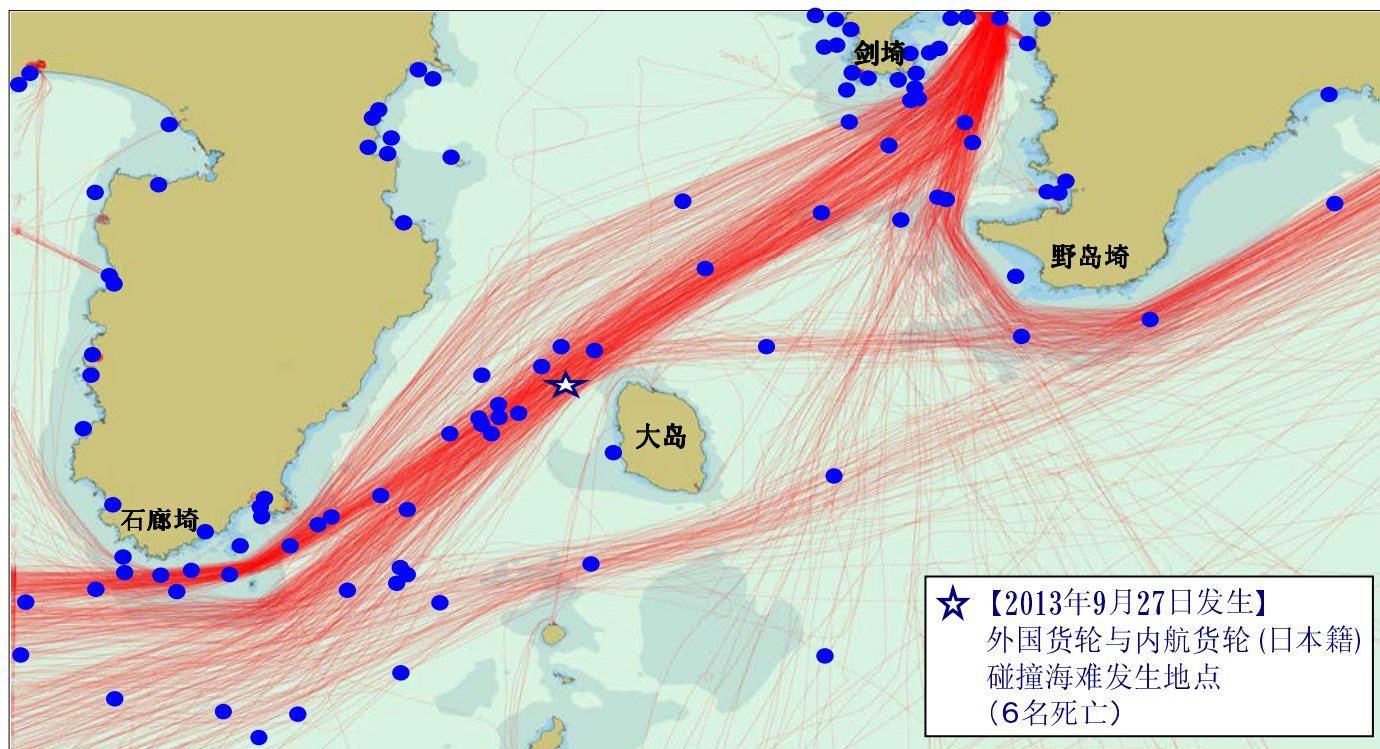
Take proper actions to avoid Collision

◎If you take actions to avoid a collision , you need to take it in ample time, obvious enough to be readily apparent to other vessels.

◎After taking actions, you need to carefully check the effectiveness of the action until the other vessel is finally past and clear.

为防止碰撞海难

船舶往来情况 (红线-) 以及过去十年曾发生过碰撞海难的地点 (蓝点●)



任何时候都应保持正规瞭望！

◎根据船舶通航密度以及能见度情况(夜间、由于大雾等原因而使能见度受到限制的情况)应积极使用雷达、AIS(船舶自动识别系统)等任何时候都保持正规瞭望，及时正确掌握他船动态信息。

应与他船积极取得联系！

◎若有即将形成对遇局面或交叉相遇局面的他船，应积极使用无线等手段取得联系，以求得双方的了解。

应采取最有助于避碰的行动！

◎为避免碰撞给他船让路时，应尽可能及早地采取大幅度的避让行动，以便他船容易察觉到。

◎采取措施之后，应继续细心查核避让行动的有效性，直到最后驶过让清他船为止。